

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
概要	<p>高齢化の進展に伴い、高齢者の就労や活躍の場づくり、社会参加に向けた活動の支援について推進する必要があります。</p> <p>高齢者が地域の中でいきいきと暮らせる生活環境づくりを進めるとともに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築し、推進を図ります。</p> <p>また、子どもや高齢者、障がい者等、誰もがいくつになっても地域で健やかに自立した生活を送ることができるよう、気軽に運動ができる環境づくりを進めるとともに、民間の力を活かした健康・体力づくりの機会をつくること等により、未病に対する取り組みを推進し、町民の健康・体力増進を図ります。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 地域福祉の充実	1	A
(2) 地域包括ケアシステム	1	A
(3) 生きがいづくりと社会参加の促進	2	B
(4) 健康づくりと介護予防の促進	1	B
(5) 充実した介護サービスの提供	1	A
(6) 健康づくり支援の推進	1	A
(7) 地域医療の充実	1	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の声を(アンケートを実施)反映した高齢者福祉計画の改定につなげる。 ・がん検診等の受診率の向上 	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
	説明 地域支援事業の実施および計画策定に向け、検討・準備を行ってきた。また、福祉サービスについても妥当性、有効性などを考慮し29年度に向け見直し検討を行い、必要なサービスや事業は継続、改善に向け取り組んでいる。 病気の早期発見、早期治療や重症化を防ぐためにも、がん検診・特定健診は有効であることから、未受診者への受診勧奨に力を入れて取り組む。	
	方向性 地域の通いの場を中心に介護予防だけでなく、地域の困りごとを解決できる(生活支援)よう、地域の理解を得る。 お互いさま推進協議会(町域の協議体)と一色小学校区福祉協議会(地域の協議体)との連携を図り、地域共生社会へ向けての動きを明らかにし、他の小学校区でも地域の協議体の必要性を理解してもらう。 在宅医療介護連携事業の推進に努める。 未病センターを設置し、町民の健康や運動に関する意識の向上に努める。 併せて、県、民間事業者、県内自治体が連携して実施している未病サミットに参加し、イベントなどを通じて普及啓発を図ることで、町民一人ひとりの主体的な健康の維持・増進や健康意識の改革を図る。	

◎最終評価者[庁内評価委員会]		
	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。 今後さらに推進するために、関係機関や町民との連携を深め、地域資源や特性を生かした支援のネットワークの充実を図る。併せて、健康寿命の延伸に向け、健康増進への意識や運動継続への意欲の向上を図るとともに、子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に健康づくりに取り組むことができる環境の充実を図る。	